

仮想アース Crystal E の導入(34) (HP 収載)

—仮想アースの製作(11)—

1. 始めに

前報(31)に引き続き、仮想アースを製作します。本報も、Crystal E の報告ではありませんが、整理の都合上、仮想アース Crystal E の導入シリーズに含めて報告いたします。

2. 仮想アースの製作と試聴

最近の仮想アース製作内容は次のとおりです。

前報(19) グリーンカーボランダム単独

前報(20) 金属タワシ解砕物とグリーンカーボランダムとの混合物

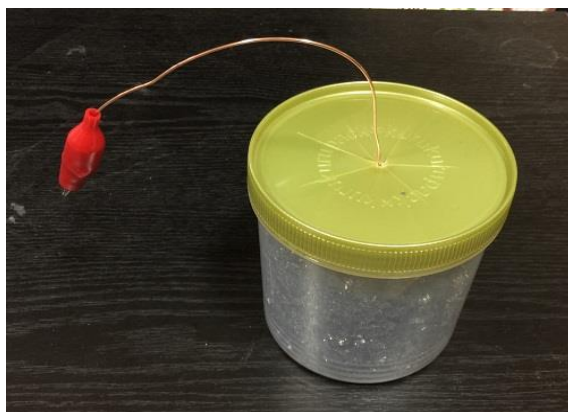
前報(28) 木炭の粉碎物とグリーンカーボランダムとの混合物

前報(31) 粒状備長炭とグリーンカーボランダムとの混合物

今回は、金属タワシ解砕物と粒状の備長炭とグリーンカーボランダムとの 3 者の混合物について検討します。

グリーンカーボランダムは前報(19)で使用したもの、粒状備長炭は前報(31)で使用したもの、これにステンレスタワシを切り刻んだものを加えることにします。

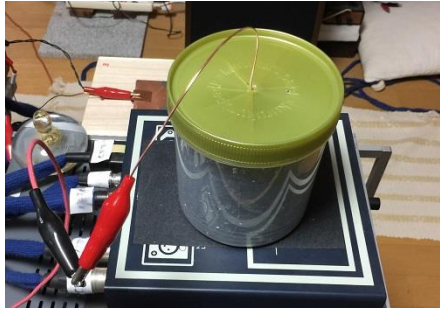
金属タワシ解砕物と粒状備長炭とグリーンカーボランダムを目分量で等量ずつ混合し、容量大きめのポリ瓶に詰め、銅板を埋めて無垢の銅線のリード線を引き出します。



本機を仮想アース 9 号機とします。

接続対象は、EMT981、Brooklyn DAC+および DMR-UBZ1 とします。

EMT981 接続では、CD の再生を行います。Brooklyn DAC+接続では、アナログの再生と BPODCH の再生を行います。DMR-UBZ1 接続では、BPODCH の再生を行います。



EMT981 接続



Brooklyn DAC+接続



DMR-UBZ1

3. 仮想アースの試聴結果

EMT981 における CD 再生では、フランソワ＝フレデリック・ギィ（ピアノ）とグザヴィエ・フィリップ（チェロ）のベートーヴェンのチェロソナタ集を再生しましたが、仮想アースを繋ぐと、チェロとピアノの音が引き締まり、チェロはボウイングやピチカートが明瞭になり、ピアノの打鍵がくりあーになって、余分な響きがなくなります。

Brooklyn DAC+経由のアナログ再生の場合、仮想アースを繋ぐと、アッカードのパガニーニの 24 の奇想曲では、ヴァイオリンのヒステリックな音が消え、スターカットの切れや胴鳴りが明瞭になります。

Brooklyn DAC+経由の BPODCH の再生では、キーシンとヤンソンス指揮のベルリンフィルのリストのピアノ協奏曲 1 番を視聴しましたが、仮想アースなしでも、DMR-UBZ1 に前報(31)で製作した仮想アースを繋いでいますので、様変わりしています。さらに今回の仮想アースを繋ぐと、一層オーケストラの音の分離と協和が向上し、ピアノの打鍵の迫力がまします。

DMR-UBZ1 接続では、キーシンとヤンソンス指揮のベルリンフィルのリストのピアノ協奏曲 1 番を視聴しましたが、仮想アースを繋ぐと、オーケストラの音の分離と協和が向上し、ピアノの打鍵がクリアーになって、低音の響きが明瞭になります。

今回の金属タワシ解砕物と粒状の備長炭とグリーンカーボランダムとの 3 者の混合

物による仮想アースは、これまでのものに比べて最上のように感じられましたので、**Brooklyn DAC+経由のアナログ再生で、Crystal E と比較してみましたが、Crystal E** にかなりのところ遜色ない程度になっていることが分りました。この 9 号機はさらなる用途に向けて保管しておきます。

4. まとめ

ステンスタワシと備長炭とグリーンカーボランダムを混合した仮想アースの製作を行い、それらの効果の確認ができました。

以上